

QlikView の連想技術

QlikView によって、ビジネスインテリジェンス(BI)に対するユーザーの期待は一変しました。変化の激しいビジネスの世界では、あまりにも複雑で一部のパワーユーザーにしか扱えず、長期にわたる導入期間がかかってしまう成功率の低い製品はもはや受け入れられません。QlikView プラットフォームは、他の BI プロバイダにはない価値、つまりパワーユーザーだけではなく全てのユーザーにビジネス上の課題に対する回答を、クリックだけというシンプルさで提供します。また、ユーザーの興味や創造性をかき立てます。さらに、QlikView は使いやすく、導入や管理も容易であるため、顧客は数ヶ月や数年ではなく、数日や数週間という短い期間で価値を実現できます。

QlikView は使いやすい

QlikViewが成功している背景には、QlikViewが特許を取得している連想技術が挙げられます。インメモリ連想技術を用いた分析やレポートングにより、誰にでもすぐに構築・修正できる、豊かなビジュアル表示である対話型ダッシュボードにワンクリックでアクセスすることができます。ユーザーは制約を受けずにデータ分析ができるため、ビジネス上の新たな切り口を発見、確認できます。データを迅速に連動させることでより正確な情報を獲得し、課題に対して事前に対策を講じることができるのです。

QlikViewは、以下の点でユーザーから高い評価を受けています。

- 連想検索
- 直感的なユーザーインターフェース
- 無限のビジュアル表示
- 迅速なレスポンス
- 柔軟な分析
- ダッシュボード、分析、レポートの統合
- いつでもどこでもアクセス
- コラボレーション機能

連想検索

連想検索は、QlikViewに組み込まれたシンプルかつ日常的な検索ツールです。自分にとって意味のあるキーワードを使用してデータを検索するのに役立ちます。ユーザーは、関連した事実さえ知っていれば、データを検索することが可能です。データの内部的な構造やプログラミングの構文を知らない場合でも、QlikViewが見たいデータを見つけてくれるのです。キーワードを入力して検索を行えば、QlikViewが関連するデータの全てをみつけて表示します。

たとえば、マーケティングマネージャーが展示会に参加した後で帰社したとします。そこで会った人の名前を思い出そうとしますが、会社名と役職しか覚えていません。連想検索では、これら2つの記憶だけを使って連絡先名のリストボックスを検索し、一致する可能性のある全てのデータを得ることができます。

直感的なユーザーインターフェース

色分けされた、ポイント&クリックによるQlikViewのユーザーインターフェースは非常に直感的で、簡単に習得できます。画面のデザイナーやエンドユーザーでさえもわずか数秒でQlikViewアプリケーションを変更できるため、BIへの変更要望にすばやく対応することができます。QlikViewには、数百種にも及ぶバリエーションをもつチャートやテーブルが用意されています。たとえば、データの切り口を検索・選択するリストボックス、統計ボックス、チャートやテーブ

ル、その他にもビジュアルで表示される多数のインターフェースのエレメントがあります。ユーザーは、どのエレメントをクリックしてもデータを検索し、関連性や除外値を特定します。QlikViewは容易に習得できて使いやすいため、エンドユーザーは通常、トレーニングを1時間も受ければ使い始めることができます。

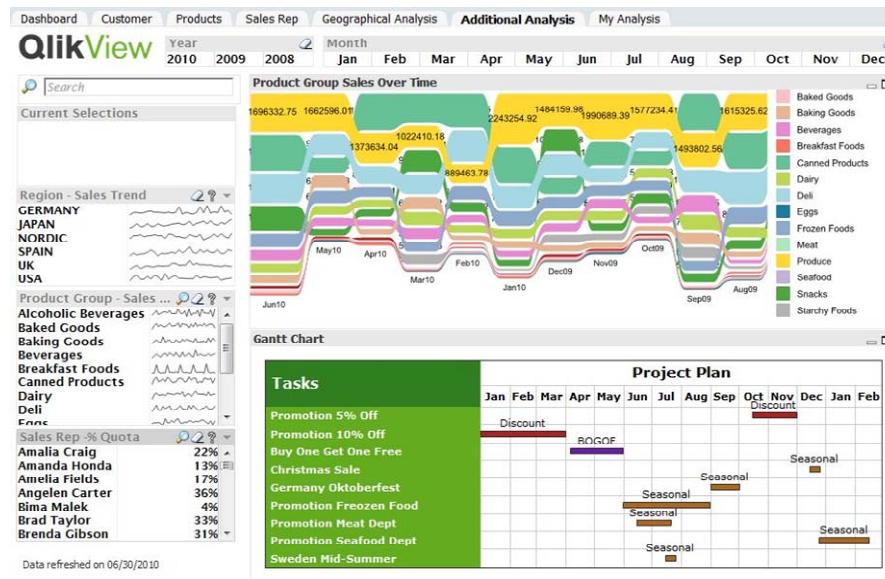
QlikView has a rich, visual user interface



無限のビジュアル表示

QlikViewは追加設定をすることなく、レーダーチャート、散布図、メッコチャートといった10種類以上の異なるビジュアル表示をサポートしています。QlikViewの拡張機能により、画面のデザイナーはQlikViewで利用できるカスタムのビジュアル表示やユーザーインターフェースを作成できます。さらに、Extensions機能を使用すると、マッピングツール、ガントチャート、タグクラウド、インフォグラフィックチャートなど、QlikViewへビジュアル面での効果をもたらすこともできます。カスタムやサードパーティによるビジュアル表示をQlikViewアプリケーションへ統合することで、QlikViewのコア機能を活用できます。

Extensions provide endless possibilities for data visualization



迅速なレスポンス

QlikViewのスケラビリティとパフォーマンスは、消費電力の低い64ビットマルチコアプロセッサが主流化し、メモリ価格の継続的な下落を背景に実現しました。QlikViewは、エンタープライズ規模で導入した環境でも、標準的なハードウェアにおいても、高速のレスポンスで動作します。

何十億件という膨大なデータレコードのアドホック分析では、データのリロードに対する処理リクエストが発生します。QlikViewはこの課題の解決するために、データの差分ロードを実行して更新に必要な時間を数時間から数分にまで短縮し、データ処理の負担を軽減しています。

最大限のパワーで、高速な処理を実現

QlikViewは64ビットのマルチコアCPUの大容量メモリを効率的に使用しています。マルチコアによる処理を行うことで、何千人ものユーザーや何十億件の明細データを処理することができるようになります。インテル社ではQlikTechとの間でパートナーシップを結んでおり、新製品のベンチマークソリューションとして、QlikViewを利用しています。このことは、QlikViewがハードウェアとメモリを最大限に活用した、柔軟かつ拡張性の高いBIツールであることを裏付けているといえるでしょう。

低額のコスト

インメモリ連想技術を活用したアーキテクチャーに支えられているQlikViewでは、従来のBIソリューションと比較すると、効率的なTCO（トータルコストオーナーシップ）を実現します。2010年8月、調査機関であるAberdeen Groupは「QlikView Customers Outperform Best-in-Class with Dashboards」という調査概要を発表しました。この調査によると、QlikViewを導入した企業は、平均すると、ユーザー1人につき約3/4に相当する年間コストで、エンドユーザーにダッシュボードを導入しています。¹

フレキシブルな分析

QlikTechは、ソフトウェアはビジネスに容易に適合できるべきだと考えています。つまり、ソフトウェアには、柔軟性が必要不可欠なのです。柔軟性がなぜ重要なのでしょう？それは、柔軟性が、迅速な導入、効果創出までの時間の短縮、業務との継続的な関連性にとって必須であるためです。ビジネス分析の担当者は単位、チャート、比較など全てをビジネス要件に合わせて設定できます。事前にデータを集約する必要はないため、エンドユーザーにとって数々の利点が得られることはいうまでもありません。キューブやモデルあるいはクエリなどを変更する必要はなく、自由に検索してビジネスの全体像を得られます。

QlikViewのお客様は自社データを使用し、既定ではなく自社の要件に従って非常に短期間で試作品を開発することができます。2010年8月版のAberdeen Groupの「QlikView Customers Outperform Best-in-Class with Dashboards」によれば、全回答者の平均では、ダッシュボードの変更にはコンセプトから完成まで3.5日かかっているのに対し、QlikViewユーザーは平均1日で実行できたと記されています¹。また2010年8月、ビジネス アプリケーション リサーチ センター（BARC）が「The BI Survey 9—The Customer Verdict」というレポートを発表しました。²それによると、QlikTechは3ヶ月以内の導入においてトップクラスの実績であり、顧客の85%が6ヶ月以内に導入を完了しています。

ダッシュボード、分析、レポートの統合

QlikViewの本質はシンプルさにあります。従来のBIツールが提供していた数々の機能を、単一のプラットフォーム上で実現しています。

QlikViewは、ERP、テキスト、Excel、XMLなど複数のソースからデータを抽出・変換することができます。クリックすることで簡単に操作できるQlikViewは、ダッシュボード形式のチャート、グラフ、テーブルなどを使用した最新式のビジュアル表現機能を備えています。ユーザーは外出時でも携帯デバイスを使用して、必要な情報をすぐに手に入れることができます。

またユーザーは、共有のブックマークだけではなく、メールやレポート、あるいは印刷レポートを介して他のユーザーと情報を共有できます。QlikViewオブジェクトとMicrosoft Officeアプリケーションとのライブ統合により、分析コンテンツをプレゼンテーションやドキュメントへ取り込むことが可能になります。これらのBI機能を単一のアーキテクチャーに統合することで、ダッシュボードや分析レポートなどに対する、全組織にわたる広範なユーザーの要件を満たすことができます。

¹詳細情報に関しては、2010年8月版 Aberdeen Group 調査概要「QlikView Customers Outperform Best-in-Class with Dashboards」を参照してください。

<http://www.aberdeen.com/Aberdeen-Library/6776/RB-business-intelligence-dashboards.aspx>

²詳細情報に関しては、2010年8月版 BARC 調査「The BI Survey 9—The Customer Verdict」を参照してください。

<http://www.bi-survey.com/product-overview.html>

いつでもどこでもアクセス

ユーザーはリモート環境や、出張先、移動中であってもQlikView分析やレポートにフルにアクセスできます。オフラインモードのノートパソコンのユーザーは、ダウンロードしたQlikViewをQlikView Server に接続しているときと同様に使用できます。モバイルクライアントでは、PDFレポートを単にブラウ上で表示する以上の機能を使うこともできます。アップルのiPadやiPhone、Android、およびBlackBerryデバイスを使用して、ユーザーはインターネットにアクセスすることさえできれば、QlikView Server上のアプリケーションにアクセスし、情報をやり取りできます。

コラボレーション機能

既定されているソフトウェアのインターフェースや方法論にユーザーが従う必要のある従来の BI ソリューションとは異なり、QlikView はユーザーのニーズに適合することを第一に考えています。コラボレーションをサポートするため、クリックによる分析やその結果から見いだした洞察を簡単に共有できます。画面のデザイナーは、アプリケーションやレポート、グラフを必要に応じて調整し、ユーザー間やグループ間で配信することができます。QlikView は、従来の BI にありがちな、複数の真実が存在する「情報の孤島化」を回避し、常に「ひとつの真実」から有意義な答えを提供します。

QlikView は導入・管理が容易です

QlikViewの単一ソリューションによるアプローチと幅広い導入オプションによってプラットフォームの保守が簡単になり、TCOの大幅な削減に役立ちます。

複数のクライアント導入オプション

QlikViewの導入は、たった1件のダウンロードといった小規模なものからスタートできます。QlikViewは、復元力と拡張性を持ったインフラを基盤にして、何十億行というデータや何千人ものユーザーをサポートするエンタープライズ規模のBI導入へと発展させることも可能です。

、QlikViewでは、ローカルWindowsクライアント、Internet Explorerプラグイン、モバイルクライアント、Ajaxクライアントなどの様々な導入オプションがあります。従業員、納入業者、販売店、顧客は、一般的なWebブラウザを使用してQlikView Serverに接続するだけで、QlikViewが提供するインタラクティブな機能を使用できます。

複数のサーバー導入オプション

QlikView は何千もの大規模な接続ユーザーをサポートするように拡張可能であり、その結果、組織の誰もが「ひとつの真実」にアクセスできるようになります。QlikView を使用すると、当初個人ユーザーや小規模グループ向けであったアプリケーションにメモリや処理能力を追加するだけで、ユーザー規模の拡張を行えます。アプリケーション自体を変更する必要はありません。

QlikView パーソナルエディションは通常、導入を行う際の出発点となります。ご購入後には、QlikView Desktop によって、パーソナルエディションで作成したドキュメントは、そのまま利用でき、他のユーザーと共有できるようになります。QlikView Server は、充実したシステム管理機能を付加します。QlikView Publisher は、スケジュール更新や管理業務を強化するものです。QlikView Server のクラスタリングは、最大限のシステム拡張性、パフォーマンス、および復元力を提供します。クラウド上に QlikView があれば復元力が向上し、資本コストなしでダイナミックな拡張性が実現します。

安全で、制御されたデータアクセス

QlikViewプラットフォームを使用することで、企業のセキュリティポリシーを強化できます。ユーザーやグループのみならず、データ、アプリケーション、および個々のQlikViewオブジェクトに対してセキュリティポリシーを適用することも可能です。QlikViewは、Microsoft Active Directory、NT LAN Manager (NTLM)、およびサードパーティのセキュリ

ティモデルに対応できます。QlikViewのセキュリティモデルは、個々のチャート、項目レベルの表示、さらにはアプリケーション内の機能を管理した上で、単純なドキュメントへのアクセス制限からデータ配信にまで機能を拡張できます。QlikView Publisher(QlikView Serverのオプション機能)は、適切な情報を、適切なユーザーに、適切なタイミングで、さらに適切な形式によって配信します。QlikViewアプリケーションの配信を管理し、QlikViewアプリケーションのデータ更新を自動化します。またPublisherは、PDFレポートが時間通りに配信されていることや、アプリケーションが適切なユーザーに安全に配信されていることをQlikView AccessPointから確認します。ユーザーへのPDFレポート配信には、QlikView PDF Report Distributionモジュール(オプション)が必要です。